

令和7～10年度 市長公約取組項目

【進捗状況の記号について】
 ◎:「実施済み」もしくは「達成済み」である
 ○:すでに取り組んでおり、「計画的に進捗」している
 △:取り組みに向けて、「検討中」である

1.未来への投資

公約項目	取組項目	進捗状況	令和7年度の実績、取組状況	担当部局
重点 習い事への支援	1 子どもの習い事を支援する「習い事バウチャー制度」の導入	○	・令和8年度4月の運用開始に向けた制度を設計し、利用者・事業者の登録申請受付を開始。	こども未来部
教育人材の確保・充実	2 県と協調して、いじめ・不登校など複雑かつ多様な課題に対応できる教育人材の確保・充実	○	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの支援スタッフを継続して配置。	教育総務部 学校教育部
産前産後ケアの充実	3 出産前後の子育て世帯を支える環境の充実	○	・訪問型を追加し複数回利用を可能とした産後ケア事業を実施。 ・令和8年度の運用開始に向けた産婦健康診査費助成事業の制度を構築。	健康福祉部

2.健康的な暮らし

公約項目	取組項目	進捗状況	令和7年度の実績、取組状況	担当部局
重点 市バス特別乗車証の継続	4 高齢者や障がい者の外出を支援する市バス特別乗車証の制度維持	◎	・市バス特別乗車証制度を継続。	健康福祉部
フレイル予防の充実及び介護度改善の推進	5 心身の活力低下によるフレイルの予防強化	△	・他市の事例研究、事業内容及び事業実施スキームについての検討を実施。	健康福祉部
	6 要支援・要介護状態の悪化の防止・改善の推進	○	・令和8年度より事業を開始する介護度改善インセンティブ事業の制度を構築。	健康福祉部
健康づくり支援	7 市民の主体的な健康づくりをサポート	○	・令和8年度開始に向け、「骨の健康づくり」にフォーカスし対象者を10歳以上とした事業を検討し、また乳がんのセット健診の実施回数を増やすなどの、受診しやすい体制を検討した。	健康福祉部

3.チャレンジ応援

公約項目	取組項目	進捗状況	令和7年度の実績、取組状況	担当部局
重点 伊丹空港の国際線就航の推進	8 安全・環境対策及び国際線就航に必要な規制緩和に向けた要望	○	・安全・環境の確保及び国際線の運用規制の見直しについて、周辺市や県と連携して関係機関に要望を行うとともに、「空港の設置及び管理に関する基本方針」の一部改正に際し、国土交通省に意見を提出。	都市活力部
スタートアップ支援拠点の充実等	9 新しいビジネスを興すための支援制度を充実	○	・令和7年度に創業支援講座の分野を拡充して実施し、市の支援情報に加えて国や県等の支援情報などを集約したホームページを公開。 ・次年度に向け、創業に関する交流会など新規事業の検討を開始。	都市活力部
	10 女性があらゆるライフステージで自分らしく活躍できるための施策を充実(女性の悩み相談窓口の強化)	○	・様々な悩みを抱える女性のために「女性のよりそい相談室」の専用ダイヤルとメール相談(24時間受付)など、相談窓口の拡充。	市民自治部

4.安全第一のまち

公約項目	取組項目	進捗状況	令和7年度の実績、取組状況	担当部局
重点 統合新病院の整備推進	11 統合新病院の整備や医療サービスの強化	○	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染対策工事完了。 ・西棟(基幹病院)整備に係る掘削、基礎躯体工事に着手し、医療機器購入に向けた、要求水準書の作成。 ・市立伊丹病院経営強化プランを推進するため、経営状況等に関する決算評価報告を実施。 ・新たな診療報酬加算の確保による収入増を図るとともに、厳しい経営状況と資金収支の状況を踏まえた統合新病院収支シミュレーションの見直しを実施。 ・近畿中央病院診療休止による地域医療提供体制の確保及び統合新病院の開院に向け、令和8年度以降必要となる人材を確保するため、近畿中央病院職員の先行受入れを決定。 	市立伊丹病院・統合新病院整備推進班
地域防災力の強化	12 緊急事態に対応するための国・県・地域との連携強化	○	<ul style="list-style-type: none"> ・5小学校地区の自主防災訓練において、組立式仮設トイレを使用した設置訓練を実施。 ・毎月1回の頻度で、防災コラム「そなえる防災伊丹」をXで配信開始。 ・三菱自動車工業(株)及び兵庫三菱自動車販売(株)、(株)ユアサ、日本レスキュー協会、(株)アクティオとそれぞれ4件の災害時応援協定を締結。 	総務部
都市農業の振興等	13 都市農業の振興等、地産地消の推進	○	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農業活性化推進事業補助金事業を実施。 ・公設市場のHP、SNSを通じて市内農産物のPRを実施。 ・農業祭、農産物品評会等のイベントを実施。 ・南京桃PR動画(第1弾)を作成し、市HP、SNSを通じてPRを実施。 	都市活力部
	14 有機農産物を活用した給食提供	○	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食で、有機野菜(ズッキーニ、ナス、ほうれん草)、有機米を活用した給食を提供。 ・小学校給食で、有機米を活用した給食を初めて提供。 	学校教育部

5.改革の断行

公約項目	取組項目	進捗状況	令和7年度の実績、取組状況	担当部局
重点 市長退職金に成果報酬の仕組みを導入	15 市長退職金に外部意見による評価システムを導入	○	<ul style="list-style-type: none"> ・先進事例の調査・研究を行い、ロードマップを作成。 	総合政策部 総務部
改革に向けた民間人材の活用	16 市の広報力向上のための民間人材の活用	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施策や魅力をPRする広報物デザインを担う人材を雇用し、広報物デザインに係る支援制度を開始。 ・市の施策や魅力をPRする動画制作を担う人材は募集を行ったものの、採用基準未達により未雇用。 	総合政策部
	17 組織課題の解決や働きがいのある職場づくりのための民間人材の活用	○	<ul style="list-style-type: none"> ・CHRO(副市長)を補佐する委託業務契約を締結し、伊丹市ヒューマンリソース戦略推進本部の本部長補佐官に登用。 ・研修会講師や職員エンゲージメント向上施策及び、伊丹市ヒューマンリソース戦略策定の助言・事業提案を実施。 	総合政策部

伊丹市が抱える課題への対応

公約項目	取組項目	進捗状況	令和7年度の実績、取組状況	担当部局
部活動の円滑な地域展開のための支援	18 多様で安全な地域クラブ活動を支援する組織・制度の創設	○	・令和8年度中の完全移行に備え、必要な調査及び中間支援業務の実証事業、ならびに登録地域クラブの選定を実施。	学校教育部
JR伊丹駅前の各種施設の有効活用	19 演劇ホール跡の利活用	△	・演劇ホール跡利活用事業の公募を実施したが、応募者が現れなかったため事業者へのヒアリング等を行い、公募条件を見直した上で再公募を検討。	総合政策部
公共施設再配置基本計画の推進	20 再配置方針に基づく公共施設マネジメントの推進	○	・南小学校区内の共同利用施設等を集約した「みなみ交流センター」の令和8年度供用開始に向け、令和7年6月に施工業者と工事請負契約を締結し、整備に着手。	総合政策部
待機児童対策の推進と民間保育所との連携	21 民間保育所等との連携による待機児童対策の推進と保育の質の向上	○	(待機児童対策) ・民間保育事業者主催の就職フェアへ支援を実施。 ・市南部地域で令和9年4月開園の民間保育所を整備する事業者を選定。 (保育の質の向上) ・市内全幼児教育施設対象の職員研修を12回実施。 ・幼児教育アドバイザー訪問を全施設2回以上実施。 ・幼保小の架け橋プログラム促進に係る事業として、伊丹市架け橋期の教育推進事業の地域部会を市内7拠点園において各2回開催し、幼保小の職員が参加。 ・伊丹市架け橋期のカリキュラム(1年生版)策定。	こども未来部
ボール遊びを楽しめる公園の環境整備	22 ボール遊びを楽しめる公園の環境整備の推進	○	(ボール遊びを楽しめる公園づくり) ・地域で公園におけるボール遊びの新しいルール作りを話し合う流れを示した「公園におけるボール遊びのルールづくり手引き」を作成。 (スポーツ施設のオープンスペースの確保) ・既存施設の空き時間を有効活用した施設開放の実施に向けて、指定管理者と開放の日程やルールについて協議を実施。 ・スポーツセンターのオープンスペースに設置予定のバスケットゴールについて、令和8年度中の整備・開放に向け具体的検討に着手。	都市交通部 生涯学習部
自習環境の充実	23 生涯学習施設等の自習スペース増設とWi-Fi整備の対応	○	・公共施設等における自習可能なスペースの調査及びHP上での公表を実施。 ・令和8年度に実施に向け、自習スペースのWi-Fi整備に向けた準備を実施。	生涯学習部
民間と連携した放課後児童クラブ運営	24 民間活力による放課後児童健全育成事業の定員確保とサービス拡充	○	・私立児童クラブの設置支援制度を活用し、市内に新たに3カ所の事業所を設置。	生涯学習部
	25 暮らしやすさのブランド化	○	・ブランド戦略策定の基礎データとなる現状調査・分析等の実施委託事業者を選定し契約。 ・令和8年1月より順次各種調査(アンケート調査含)を開始。	総合政策部
伊丹の魅力をブランド化	26 歴史、清酒等の魅力発信	○	・伊丹市文化財ボランティアの会と連携し「ひょうごフィールドパビリオン」の関連事業としてガイドツアーを実施(年5回)。 ・大阪・関西万博にブース出展し、清酒発祥の地のPRを実施。 ・出前講座による学校連携や既存イベントへの参画、SNS等で清酒発祥の地や日本遺産に関する情報発信を実施。 ・JR西日本のアプリを活用したスタンプラリーを鉄道会社3社と連携し周遊事業を実施。 ・周遊事業として民間事業者と共催でミッションラリーを実施。また、鉄道広告等を活用し広域的にPRを展開。	都市活力度